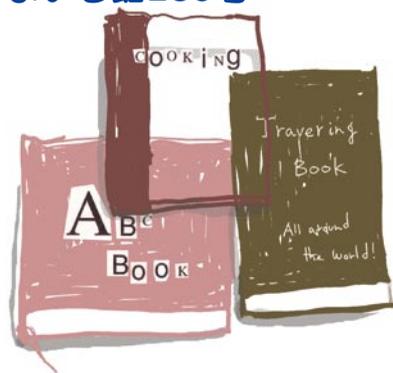


スツキリ!!

～本棚を工夫して部屋をより快適に～

本と雑誌の収納術

いよいよ読書の秋がやってきます。小説、雑誌など、お気に入りの本を読みふける…という楽しみを味わうには絶好の季節です。しかし買い込んだ本の収納場所に困り、部屋の片隅に積み上げられてしまう。それでは、**お部屋のイメージもだいなしに**。そこで今回は本と雑誌の収納を見直し、本棚から部屋を快適にする術をご紹介します。



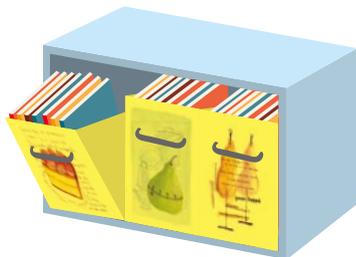
収納のしやすさ (スペースの有効活用)

◎押入れを活用しよう

大量に収納したい場合は、押入れを利用する手もあります。押入れの中に棚がなくても、透明ボックスを重ねて使用すれば、かなりの量が収納できます。

◎雑誌の収納

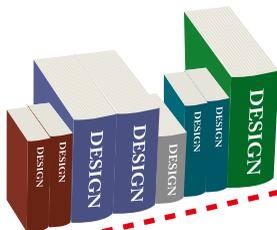
雑誌は発行ペースが早いので、購入するたびにどんどん積み重なっていくものです。サイズ、背表紙もさまざまですし、書籍と違って紙質が柔らかいため、立てて並べるとガラガラと崩れてしまいがちです。雑誌はサイズに合わせて収納することがポイント。**書類用のボックスや箱に収納するとうまく整理できます。**



見た目や統一感 (インテリアとして組む!)

◎本をインテリアとして飾る

本を「収納するもの」と考えず、ちょっと見方を変えてインテリアとして扱おうと、部屋全体の雰囲気も変わってきます。季節や気分によって飾る本を変えれば、簡単な部屋の模様替えもできます。



◎本の並びを揃える

本の背表紙は本によってサイズも色も違います。これを無造作に並べると本棚だけでなく、部屋全体が雑然としているように見えてしまいます。そのときは**本の高さを揃えて置く、本を奥まで押し込まず前面を揃える**というように、「揃える」ことを意識した収納を心掛けるとスツキリします。

◎表紙で目隠し

背表紙が実用的でおしゃれに見えない本や、本をグループ化する時に無理に配列をしてしまわずに**最初から残しておいた本等をまとめて並べて、特に気に入りのおしゃれな表紙の本でふたをする様に目隠ししてみよう!**目隠しに使う本を探して、時々入れ替えてみるのが楽しみの一つになり、一番気に入りのコーナーになるかも!



◎読みかけ雑誌の置き場所は?

読みかけの雑誌は、テーブルやソファのまわりに置きっぱなしだと、部屋全体が散らかったように見えます。読みかけなら、持ち手つきのカゴや布製のトートバックに入れておくと、持ち運びができて便利です。**カゴやトートバックの色と素材は、お部屋にあわせて選び、季節によって着換も!**